

QUARTER REPORT

第121期中間報告書

2021年12月1日 ▶ 2022年5月31日

 川口化学工業株式会社
証券コード 4361

株主の皆さまへ

ファインケミカルの無限の可能性に向けて、 今後も研究開発活動に力を注いでまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第121期上半期（2021年12月1日から2022年5月31日まで）が終了いたしましたので、この間の事業概況をご報告申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ロシアによるウクライナ侵攻により、エネルギー価格、原材料価格の高騰、半導体の供給不足、物流網の混乱に拍車がかかり、今後の経済活動に対して急速に不透明感が増しました。

米国では、新型コロナウイルス感染症による行動制限が大幅に緩和され個人消費を中心に景気が着実に持ち直しました。

中国においては、景気の回復は継続していましたが、ゼロコロナ政策の中、オミクロン株の感染が拡大し、上海市では長期間のロックダウンが実施され回復のペースは鈍化しました。

国内経済も、エネルギー価格の上昇、物流網の混乱が続いており、経済回復の足かせとなっています。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、世界的な半導体不足、物流の混乱、新型コロナウイルスのオミクロン株感染者急増による工場停止により生産調整が実施されました。

このような環境の中、当社グループは2021年を起点とする中期経営計画（第121期「2021」から第125期「2026」まで）をスタートし、その中で設定した目標の実現に向け、市場における需要変動を注視し、顧客ニーズに対応した高機能製品の開発、これまで培ってきた当社が得意とする合成技術を活用し、受託合成品の拡大、



代表取締役社長
山田 秀行

品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品、医療用途脱水縮合剤の製造販売に注力、成長分野での市場拡大を積極的に進めました。

一方、生産においては、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、より一層の経営資源の効率化を全社規模で進めコストダウンに取り組み財務体質の強化を図りました。

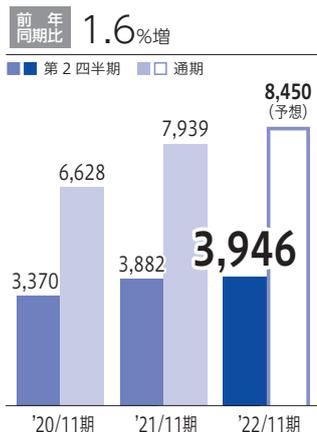
また、原材料価格の大幅な上昇、エネルギーコスト及び物流費高騰の影響を受けましたが、コスト上昇に応じた販売価格の見直しを行い、一部製品価格に転嫁する事が出来ました。

ゴム薬品の販売は、自動車関連の国内外での減産の影響を受け、売上高が前年同期を下回りました。樹脂薬品、その他薬品については国内販売、輸出共に増加し売上高が前年同期を上回りましたが、中間体については、売上高が前年同期を下回りました。

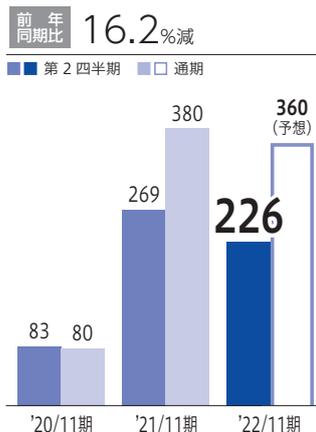
これらの結果、当中間期の売上高は39億46百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は2億26百万円（前年同期比16.2%減）、経常利益は2億35百万円（前年同期比13.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億79百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

連結財務データ

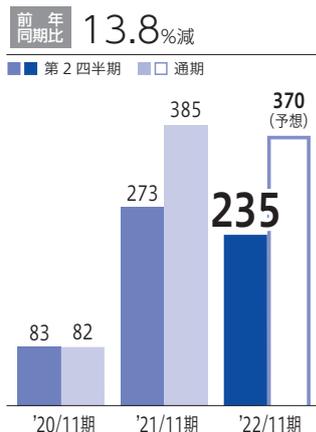
売上高 (百万円)



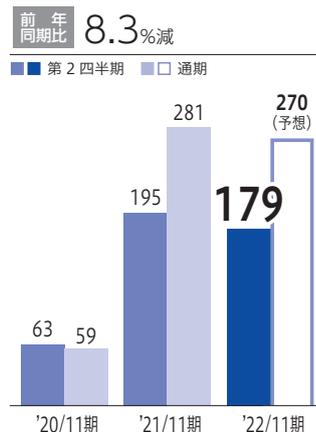
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 (百万円)

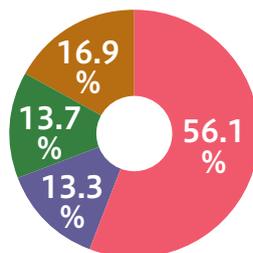


部門別の状況紹介

部門別売上高構成比

- ゴム薬品
- 樹脂薬品
- 中間体
- その他

(不動産賃貸事業部門 0.5% 19百万円含む)



中期経営計画（第121期から第125期まで）をスタートし、目標の実現に向け市場における需要変動を注視し、顧客ニーズに対応した高機能製品の開発、当社が得意とする合成技術を活用し、受託合成品の拡大、品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品、医療用途脱水縮合剤の製造販売に注力、成長分野での市場拡大を積極的に進めました。

化学工業薬品事業部門

ゴム薬品

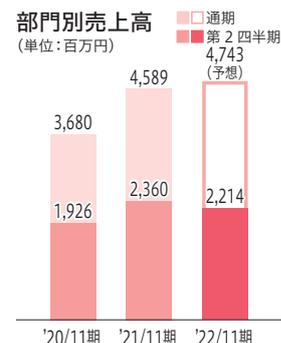
◎売上高22億14百万円（前年同期比6.2%減）

▶事業の紹介

タイヤやケーブルなど人々のライフラインを支えるゴム薬品、さらには、ヘルスケアに欠かす事が出来ない医療用ゴム製品への添加剤の提供を通じ人々の豊かな生活を守っています。

○当中間期のポイント

- ・ゴム薬品全体では世界的な半導体不足、新型コロナウイルス感染症の再拡大による減産の影響を強く受け減収。
- ・医療用ゴム用途製品は、需要の変化に対応し販売増加。



樹脂薬品

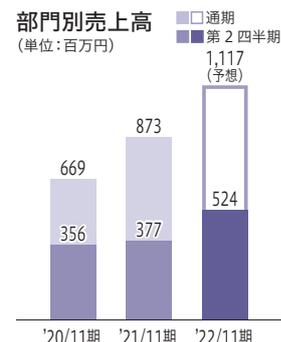
◎売上高5億24百万円（前年同期比38.8%増）

▶事業の紹介

世の中は省エネルギーに向けて進んでいる中、環境に配慮した高機能樹脂に置き換わりつつあり、そこに当社グループの樹脂薬品が使われています。また、当社が得意とする技術を生かし、ディスプレイなど成長著しい電子材料の添加剤を提供し、社会に貢献しております。

○当中間期のポイント

- ・主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルの生産に柔軟に対応。
- ・海外向けは、新規顧客を中心に販売。



中間体

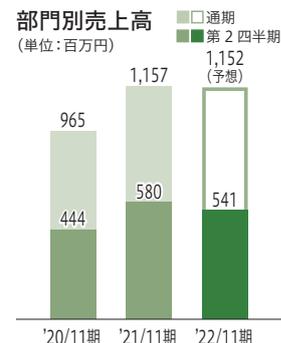
◎売上高5億41百万円（前年同期比6.7%減）

▶事業の紹介

農業や医療で必要とされる原料の提供を通じて人々の豊かな生活を支えています。

○当中間期のポイント

- ・界面活性剤中間体は、主要製品の需要が低調に推移。



その他

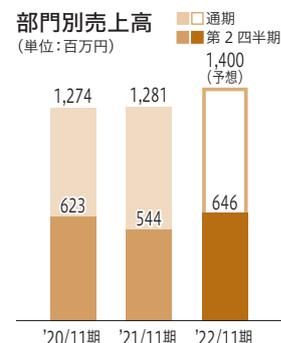
◎売上高6億46百万円（前年同期比18.7%増）

▶事業の紹介

環境用薬剤は家庭や企業などから出るゴミを焼却する際に発生する鉛や水銀を安全に捕集し、環境を守るお手伝いをしています。

○当中間期のポイント

- ・電子材料用途脱水縮合剤は顧客要望への積極的な対応。
- ・得意とする合成技術を基盤とする製品の販売に注力。



財務データ

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
	2022年5月31日	2021年11月30日
資産の部		
流動資産	5,365	5,401
固定資産	2,416	2,492
資産合計	7,781	7,894
負債の部		
流動負債	4,350	4,535
固定負債	1,052	1,106
負債合計	5,402	5,641
純資産の部		
株主資本	2,307	2,188
その他の包括利益累計額	71	63
純資産合計	2,378	2,252
負債純資産合計	7,781	7,894

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自2021年12月1日 至2022年5月31日	自2020年12月1日 至2021年5月31日
売上高	3,946	3,882
売上原価	3,148	3,043
売上総利益	797	839
販売費及び一般管理費	571	569
営業利益	226	269
営業外収益	18	12
営業外費用	8	9
経常利益	235	273
特別利益	-	1
特別損失	1	2
税金等調整前四半期純利益	233	272
法人税、住民税及び事業税	50	68
法人税等調整額	3	9
四半期純利益	179	195
親会社株主に帰属する四半期純利益	179	195

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 自2021年12月1日至2022年5月31日	前第2四半期連結累計期間 自2020年12月1日至2021年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△124	387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104	△77
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	10
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△335	211
現金及び現金同等物の期首残高	1,319	882
現金及び現金同等物の四半期末残高	984	1,094

TOPICS

■ もっと知ってよ！川口化学！！

当社グループはゴムの弾性、ライフ、加工性向上による省エネなど『ゴムに命を与えるゴム薬品』の製造・販売メーカーです。培った技術を生かし、広い分野への領域の展開をしています。

当社製品紹介 脱水縮合剤 EDC・DIC

医薬品、有機ELテレビやスマートフォンなどの生産に重要な機能を持つカルボジイミド類（EDC・DIC）の商業生産に成功しました。世界の企業に採用され、皆さまの“けんこう”と“くらし”に貢献しております。



NEXT STAGE

ACCEL2026

革新を強力に推進し、成長を加速する
Boost innovation and Accelerate growth

当社グループは世の中のトレンドやニーズをとらえた開発型企業を目指し、日々挑戦しています。我々の挑戦の詳細は、中期経営計画「ACCEL2026」をご覧ください。



会社概要

設立 1937年1月11日
資本金 6億1千万円
従業員数 168名
営業品目
ゴム薬品 加硫促進剤、加硫剤、老化防止剤、加工助剤、
しゃく解剤
樹脂薬品 酸化防止剤、重合調整剤
中間体 染顔料中間体、医薬・農薬中間体
その他 機能性化学品、その他各種工業薬品
事業所
本社 〒101-0047
東京都千代田区内神田二丁目8番4号(山田ビル)
本社事務所 〒332-0004
及び川口工場 埼玉県川口市領家四丁目6番42号
大阪営業所 〒550-0001
大阪府大阪市西区土佐堀一丁目3番7号
(肥後橋シミズビル)
主要な子会社
開溪愛(上海) 〒200336
貿易有限公司 上海市長寧区延安西路2201号
上海国際貿易中心1712室

役員

代表取締役社長	山田 秀行
常務取締役	荻野 幹雄
常務取締役	萱野 高志
取締役	鎌田 明守
取締役	安藤 博之
取締役	泉本 勝
社外取締役(常勤監査等委員)	中村 一哉
社外取締役(監査等委員)	石上 尚弘
取締役(監査等委員)	中西 和俊

株式の状況

発行可能株式総数 4,000,000株
発行済株式の総数 1,217,564株(自己株式2,436株を除く)
株主数 1,820名

大株主

株主名	持株数	持株比率
山田化成株式会社	201,480株	16.5%
正喜商事株式会社	121,000株	9.9%
山田史郎	28,200株	2.3%
今川和明	25,600株	2.1%
三井化学株式会社	25,000株	2.1%
株式会社SBI証券	24,308株	2.0%
山田善大	20,650株	1.7%
山田吉隆	20,261株	1.7%
両角義信	20,000株	1.6%
楽天証券株式会社	16,700株	1.4%

(注) 持株比率は自己株式(2,436株)を控除して算定しております。

株主メモ

事業年度 12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主
確定日 11月30日
定時株主総会 毎年2月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
電話 0120-232-711(通話料無料)
同連絡先 郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所
電子公告により行う
公告記載URL
公告の方法 <https://www.kawachem.co.jp/>
(ただし、電子公告による事が出来ない事故、その他やむを得ない事由が発生したときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。

当社ホームページのご案内



ホームページはこちら

<https://www.kawachem.co.jp/>

皆さまからのアクセスをお待ちしております!



川口化学工業株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田二丁目8番4号 山田ビル
Tel 03-3254-8481(代表) Fax 03-3254-8497



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。